

件名：

【中部防災推進ネットワーク】メールマガジン Vol.25

本文：

2022年10月24日

■+■-----
+■┘中部防災推進ネットワーク
メールマガジン Vol.25
■┘-----

各 位

中部防災推進ネットワークの参画メンバーの皆さまに、メールマガジン（2022年10月号）を配信します。

※メールマガジンのバックナンバー、これまでの会合の発表資料等は中部防災推進ネットワークホームページに掲載しています。

<中部防災推進ネットワークホームページ URL>

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/chububosai-nw.html>

1. 本ネットワークの参画団体のご寄稿

(1) 一般社団法人 日本ホテル協会

○第14回勉強会に参加して

第14回勉強会より日本ホテル協会の担当を引き継ぎ、今回初参加となります[REDACTED]と申し上げます。

勉強会では[REDACTED]の講話を中心とした和やかな雰囲気の中で、難しい話だけではなく業界の裏話など興味深い話を聞かせていただきとても勉強になりました。

私が勉強会に参加して感じたことは、電気・水の使用が

できないレベルの大災害が発生した際、はたして私共の
ホテルが避難場所としての役割を果たすことができるの
か？ということです。

一般的なホテルでの電力事情を確認したところ、どのホ
テルも非常用電源はあるものの、停電した際はあくまで
館内の非常灯と消火栓への電力供給のみ、それでも数時
間しか持たないとのこと。

(もちろんエレベーター等は動かさない状態で…)

実際のところ災害時に部屋にいた方はその日はなんとか
対応ができると思いますが、外部からの避難場所として
は非常に難しいと感じました。

(あくまで当社の基準のヒアリング結果なので、ホテル
の建設規模や時期によっては対応できるホテルもあるか
もしれませんが…)

また、防災訓練に関しても電気の供給があることを前提
に行っている為、災害レベルに応じての対処法につい
ても今後は想定し考えておかなければならないと感じま
した。

以上のような問題点も踏まえて今後は、勉強会や講習会
を通じ、皆様とのコミュニケーションを深めながら日本
ホテル協会としての役割を果たすことができるよう邁進
してまいります。

今後ともよろしく願いいたします。

<一般社団法人 日本ホテル協会 URL>

<https://www.j-hotel.or.jp/>

2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ
(防災イベントの予定等)

(1) あいち・なごや強靱化共創センター
(主催：防災人材交流シンポジウム実行委員会)

○イベント名

防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎(や)」

○開催日時

11月13日(日) 10時～17時

○開催場所

あいち健康の森公園 あいち健康プラザ
プラザホール(知多郡東浦町)

○概要

「つなぎ舎」とは、防災・減災活動に取り組む担い手
がつながる場、過去の災害経験を人から人へつなぎ、
地域活動の活性化につなげる場として、防災人材交流
シンポジウム実行委員会が主催する地域防災力の向
上を図るシンポジウムです。

【企画】

第一部 東日本震災記録映画 上映会「たゆたえども
沈まず」

第二部 3.11の体験と教訓を未来へ～私たちはこう
して伝え継ぐ～

※今年度の注目ポイントです。

・語り部活動にも、実は様々な形があります。

岩手県津波甚句、福島県朗読劇にご注目ください。

・宮城県女川町からは、慰霊碑前からの生中継予定で
す。

第三部 グループワーク、パネルディスカッション等

○Web ページ URL

[http://gensai.nagoya-
u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html](http://gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html)

(2) あいち防災フェスタ

(主催：愛知県・あいち防災協働社会推進協議会・
防災のための愛知県ボランティア連絡会)

○イベント名

あいち防災フェスタ

○開催日時

11月13日（日）10時～16時

○開催場所

あいち健康の森公園

○概要

県民、自主防災組織、企業、NPO、ボランティア等が連携し、一体となって防災対策に取り組む防災協働社会の連携を推進するとともに、家具等の転倒防止対策や防災ボランティア活動への理解促進を図ることを目的としております。

今年度はあいち健康の森公園（大府市）にて開催し、オンラインコーナーも併設します。

○Web ページ URL

<https://www.quake-learning.pref.aichi.jp/bosai-festa/>

3. 編集後記（事務局・協力団体のひとこと）

中部防災推進ネットワークに協力団体として参加しております、中部経済連合会の■■■■と申します。

今年の7月に中部電力から出向で参りまして、企業防災を担当することになりました。
どうぞよろしく願いいたします。

着任後、約3か月経ちましたが、防災・減災は奥が深い（深すぎる）と感じているところでございます。

先日、ポートメッセなごやで開催された「第10回 中部ライフガード TEC 2022 防災・減災・危機管理展」に行っていました。

「リスクの見える化」防災ワークショップ 2022～みて、知って、備える。プロジェクションマッピングで学ぶ南海トラフ地震～では、会場に15メートル四方の地図が敷かれ、そこにプロジェクションマッピングで災害の状

況などが投影されていました。

実際に地図の上に乗って、自分の職場や自宅の災害状況等を見たりして、改めて南海トラフ地震で想定される被害の大きさを実感いたしました。

また、自宅の付近が過去（明治～大正～昭和）どのような場所・土地であったかを調べることもできました（軟弱な場所ではなく、ややホッとしました）。

その他、展示物等を見ていく中でも、自分自身（自宅等）における対策もしっかり行わなければと思った次第です。

正しく「みて、知って、備える」だと思いました。

一人一人の個人が防災に対する意識を高く持ち、自治体・企業等もできる対策をしっかり行い、みんなで来るべき時に備えましょう！！

